

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	令和４年度 第１回近江八幡市総合教育会議		
開催日時	令和４年６月８日（水） 16時00分 ～ 17時15分		
開催場所	近江八幡市役所３階 市長応接室		
出席者 ※会長等◎ 副会長等○	出席者（敬称略） 市 長 小西 理（◎） 教育長 大喜多 悦子 教育長職務代理者 久家 昌代 教育委員会委員 八耳 哲也、西田 佳成、安倍 映子 ◇傍聴者 ０名		
次回開催予定日	未定		
問い合わせ先	所属名、担当者名 総合政策部企画課 今井 電話番号 0748-36-5527 メールアドレス 010202@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録 ・ 要約	要約 した 理由	内容を整理して、わかりやすく記録として残すため
内容	別紙のとおり		

担当課⇒総務課

事務局

1. 開会

市長

2. あいさつ

事務局

3. 議題

(1) 第2期近江八幡市教育大綱の広報について（報告）

- 事務局担当者より、第2期近江八幡市教育大綱の広報について、資料1に基づき説明。

事務局

- 事務局の報告について意見がある方はご発言をお願いしたい。

教育長

- 補足として、4月4日に開催した市教育行政基本方針説明会に欠席された私立の就学前施設の園長のもとには私と教育総務課長が訪問し、説明した。

委員

- 啓発には第一印象と継続が大事。市役所にも貼られているということだが、市民がパッと見て印象に残る形になっているか、よく考えてほしい。市役所の各窓口でも見せていくことを、部署ごとに継続して行ってほしい。
- せっかく大々的に進めているので、意識を継続するという意味でも、定着度を測る取組もあった方がよい。

市長

- 民家などにポスター掲示を依頼できないか。

委員

- 自治会館や町の掲示板などに貼ってあるとよい。

市長

- 街角や交差点。色んな所に貼ってあると嬉しい。事務局の方で検討していただきたい。

委員

- 第2期大綱について様々な機会に相当細やかに説明いただいたので、入学・入園式の時点で各校園の姿勢が違った。園長先生は教育大綱の理念と早寝・早起き・あき・し・ど・うの心をそれぞれの発達年齢に合わせて伝えようという姿勢がすごく大きく見えた。
- 先日はこども園の協議会があり地域の方向けに説明されていたが、大綱の理念を3～5歳の教育あるいは家庭教育の中にかに取り入れていくかというところを細かくお話しされて、皆様納得された。

	● 自治会に丁寧に伝えることで家庭・地域での教育力が高まっていく。自治会長会やコミセン等での地域へのアピールは重要。
委 員	● 4月の広報を読んで、シリーズ化して内容をわかりやすく伝えていけるとより理解が深まると思う。
事 務 局	● 一部当初の啓発により効果が出ているところもあるが、やはり継続的な広報が必要ということで、アイデアをいただいたので事務局で検討していきたい。
事 務 局	(2) 放課後児童クラブと学校の連携強化について ● 事務局担当者より、放課後児童クラブと学校の連携強化について、資料 2・参考1・参考2に基づき説明。
委 員	● 今日こうした議題を挙げておられるが、担当課としてはこれまでの取組をどう考えておられるのか。この議題は現状の説明として聞けばいいのか、放課後子ども総合プランの実現に向けてという方向でしゃべればいいのか、詳しくご説明いただきたい。 ● 放課後児童クラブ（以下「児童クラブ」）と放課後子ども教室（以下「子ども教室」）を別々に議論して良いのか。当市の放課後児童教育の両輪なので同時に議論が必要。
事 務 局	● 児童クラブの所管課として、運営事業者とは定期的に連絡を取っている。その中で学校との連携強化が必要という声を多く聞いている。 ● 細かな課題について、定期的に学校と児童クラブが話し合える場を作ることが必要だと認識している。
委 員	● 児童クラブのことに限らず、市の事業すべてで連携が必要というのはわかる。しかし、今のお話を聞いても、この場で議論することの中身が見えてこない。
事 務 局	● 共働きの増加により利用者が急増している一方で少子化は確実に進んでいる。そのため、キャパシティは足りなくなっているが、施設を新たに増やすことが難しいという状況がある。その中で感染対策を講じながら多様な体験活動を行うには、場所の面で学校の協力が不可欠な場面もある。そうすると施設の管理責任等の問題が出てくるので、踏み込んだ議論が必要になる。こういった課題意識をまずは共有したいと思っている。 ● 総合教育会議は学校の外の教育についても話す場だと思っている。まず

	は話し合いの場のキックオフをさせてもらいたいというところで議題に挙げた。
委 員	● 総合教育会議の役割や日常的な情報連携の場をさらに充実したいというのは理解する。ただ、今までやってきたことがどういうことで、具体的に何が足りないかという整理があればより話しやすい。今回いただいた資料では具体的などころがわからない。 ● これは子ども教室と同時に話さなければいけない話。場所は限られている中で、同じ行政で取り合いにならないように、担当課同士で議論を重ねてから、この会議の場に出してもらえるとより深い議論ができる。 ● 担当の方から直接、具体の事例があれば聞きたい。
事 務 局	● 例えばコロナ禍の中で密を避けるために学校施設を使わせてもらえるよう、教育委員会を通じてお願いしたが、対応には学校ごとに差があった。また、学校から児童クラブに向かう児童の誘導がうまくいかず、一時どこに行ったか分からなくなることがあった。日常的にうまく連携の取れているところもあるが、担当者や校長が交代すると関係性が一からになったりすることもある。 ● 定期的な会議のような場があると、安定した連携体制を築けるのではないかと事業者からは聞いている。 ● 市長部局と教育委員会が一緒になり、行政サイドとして定期的に行う形を整えていきたい。
委 員	● 双方の担当課同士の議論により、整えていけばいいのではないか。
市 長	● 双方問題の捉え方に違いがあり、話がかみ合っていない。 ● 学校保健安全法の趣旨に沿うと、放課後の児童の生活の場を確保するのは児童クラブで、学校は引き渡すだけになる。そこで難しいのは、市は児童クラブの事業者に対しても、教育委員会に対しても指揮命令権がなく、組織としてあいまいな状態で物事を進めないといけなところ。 ● 児童クラブの事業者側からすると、学校との細かなコミュニケーションがなかなかとれないという状況がある。所管課の立場で言えば、それぞれの学校・施設ごとに個別の課題があるので、まずは定期的な情報交換の場を設け、課題の洗い出しから行いたいと考えている状況だ。 ● 今は各児童クラブから上がってくる個別具体的な課題がひとかたまりになったものに所管課が向き合っているイメージ。話し合いによりそれを個々にばらして、対処して行けるようになればいい。四半期に一回ぐらいのペースでそういう場があればいいのではないか。

	● 話し合いの中で必要があれば、そこから市長なり教育長なりに話がいくことになる。
教 育 長	● 私も同じ思い。個々に関係があり、課題があると思うので、その中で市全体に関わることであれば次の段階に載せていかないといけない。
市 長	● ご賛同いただけるなら、教育長の方から学校長にお話しいただきたい。
教 育 長	● 話はする。しかし、子育て支援課と教育委員会の関係課が事務担当者レベルでやり取りする話で、総合教育会議の場で話すことではないと思う。
市 長	● まずはその整理をこの会議でできると良い。あとは事務の進め方の問題。学校・教育委員会・児童クラブの事業者等が集まり、子育て支援課もそこに入って、これからこういう話をしてくださいねということを説明してやってもらう。子育て支援課が毎回入るのは難しいだろうが、最初にそういうセッティングができればよい。
教 育 長	● 先ほど事務局からあったような個別の事例も、学校側にも何か事情があったのだらうなと思いながら聞いていた。学校の方でも問題があれば都度対応を見直したりはしているし、児童クラブの方から何か言われたら学校はわかりましたと言っているはず。それを児童クラブ側は頼りないと思われるのかもしれないが。学校側もあまり無理は言えないとか、色々な思いを持ちながらなので、もっと個々に話し合いを持った方がいいのではないか。
市 長	● そうだとは思いますが、ものの言い方でまとまるものもまとまらなくなることもある。
教 育 長	● 担当者や校長が変わると対応も変わるというのも当たり前のこと。子どもも毎年変わるのだから。 ● それぞれ情報共有は必要だが、学校と児童クラブとでは組織の成り立ちが違い、難しい。子育て支援課から学校に言っていただければ良い。
委 員	● 今日の議題を聞いて事前に周囲に話を聞いたが、事務局が言っていたような課題は見いだせなかった。今日はこういった課題があるのかというところを聞かせていただいて、同じ近江八幡の子どもを、学校に居ようと児童クラブに居ようとどこに居ようと、みんなで守っていこうという気持ちを持っていきたいと思った。

	● 児童クラブに入所するときの申請書に保護者の方が発達の特性について書いたところ、児童クラブの指導員が保育所や学校まで話を聞きに行き特性を理解しようとし、学校の側も指導員を授業参観日に招いて、児童クラブの子らが大喜びしていたという、とてもいい連携ができていた話を聞いた。 ● 個々の課題というのは確かにあると思うし、教育と市長部局ということで連携が難しい部分もあるのかもしれないが、同じ子どもということで頑張ってもらいたいという思いでいる。
委 員	● 皆さんと一緒に、学校と個々に話し合ってもらったら。自分も連携に課題があるという認識はあまりなかった。
委 員	● 私も皆さんと同意見で、まずは各学校と児童クラブとでよく話し合っ、その中で学校が解決すべき課題、児童クラブが解決すべき課題が見えてきて、両者だけでどうにもならなければ教育委員会や子育て支援課が入って解決に導いて、もっと大きな問題なら市長や教育長にということになる。まずはコミュニケーションが必要。
事 務 局	● 皆様の意見によって一定方向性が見えてきた。
市 長	● 自分の感触としては施設面の話が大きいのではないと思う。例えば老蘇などではトイレなどの学校施設の利用に関して難しい部分があると聞いている。
事 務 局	● 余裕教室を利用している児童クラブからは施設面での相談はよく聞いている。 ● 委員が話された事例のようにうまくいっている話がないわけではないが、担当者が変わる際の対応の変化や、学校での様子の児童クラブへの引継ぎなど、よりきめ細かな連携が必要な部分も多くある。校長と児童クラブが直接話せばいいが、むずかしいし、福祉部局から校長に言っても通じにくい部分もある。そこで教育委員会から学校長に言っていたいて、一定の共通認識をもつための場を作っていきたい。
委 員	● それは日常的に庁内でできていないといけないことではないか。 ● 校長には言いにくいから教育委員会から言ってほしいということでは、放課後子ども総合プランは実現できない。その壁を我々から取らないと。校長は教育委員会の言うことしか聞かない等と言っていると、お互い不満がたまると思う。

	● もう一点資料2の右下に図があるが、ここには必ず子ども教室の記載があるだろう。会議の場を増やしたとしてそこでは児童クラブのことだけ話すということなら、放課後子ども総合プランは実現できないと思う。
市 長	● 何ごとも、最初はわけのわからない話が必ず出てくる。新人や慣れない人が来たらなおさらそう。それはどうしようもないことだからお互い柔らかに捉えていかないといけない。 ● 学校にお願いしたいことは、学校として児童クラブに協力する雰囲気づくり、各校温度差はあるだろうけど全学校で雰囲気をつくってほしい。それがうまく回っていけば自ずと問題は解決するだろう。
委 員	● 子ども教室もこれから動かしていかないといけないが、現時点で児童クラブに申請したが入れなかったいわゆる待機児童はおられるのか。
事 務 局	● 今はない。 ● ただし、希望のところには入れていない方はいる。希望のところに通らなかった方には別のクラブを案内しているが、希望のところではないから入らないという方はおられる。
市 長	● 保護者の事情も様々で、ここに預けられるなら働きたいけどだめなら我慢しようという場合もある。そういう方のことも、思い通りにはならないから待機児童だ、と言うべきか難しい面もある。
委 員	● 地域によっては児童クラブに入れないというのが大きな問題なので、子ども教室もその受け皿としての目的もあるのかと思っていたが、そうではないということか。
事 務 局	● 利用を希望する児童の数は年々増えており、余裕はない状態ではあるが、児童クラブとしては、受入れ数の拡大や、施設の新設などで待機児童が出ないようにとは考えている。
市 長	● 子ども教室について私の考えとしては、児童クラブとは別のものとして立ち上げた方が、切り分けがうまくいくと思う。何も前提条件の無い状態から作り上げて、それで児童クラブの方に影響がでるなら都度調整してというイメージ。子ども教室があるから児童クラブに来る人数が減るという前提では考えない方が良い。
委 員	● そのとおり。学校ごとの実情も違うので、そのスタイルは同じにならない

	いし、するものでもない。
市 長	● 両者の切り分けは自然とできてくると思う。逆に切り分けられなくて子ども教室の方が増えないとなると問題。
教 育 長	● 児童クラブに行っている子がその日の子ども教室に行くのは連携ができていれば大丈夫。
委 員	● 一体的な実施とはそういう意味ではないか。子育て支援課と生涯学習課が壁をつくらずに話していけばいい。
教 育 長	● 国のプランは、待機児童のことも含め、東京等で起きていることを前提としているが、当市にはそういう方はいない。逆に登録はしているけど全然来ないという方はおられるか。
事 務 局	● 基本的にはない。 ● これからニーズが高まる中で、限られた人的・場所的なリソースを活用するために、柔軟に連携していくことが大事。
事 務 局	● 委員の皆様からたくさんのご意見・ご助言をいただいたので、現場レベルと行政レベル、両方で連携を深めていくよう進めていく。
事 務 局	● 次回開催日等については、未定。委員の皆様より議題等のご意見あればいただきたい。
市 長	● 本日の議題は以上となる。活発な議論が行われたことに感謝する。次回も引き続きよろしくをお願いしたい。

事 務 局

4. 閉会

終了 17時15分